

会議録

会議名	令和4年度(2022年度) 第3回 生涯学習審議会
日時	令和4年(2022年)10月28日(金)午後7時00分～
場所	八王子市生涯学習センター10階第2学習室及びオンライン会議
出席者氏名	<会場参加>石川 智子、市川 利幸、上田 幸夫、金山 滋美、小林 万里子、炭谷 晃男、三浦 眞一 <オンライン参加>大塚 英生、清水 弘美、丹間 康仁、中嶋 昭江、長谷川 幸代、山崎 領太郎
	鶴田生涯学習政策課長、倉田放課後児童支援課長、松井学習支援課長、一杉図書館課長、堀内図書館企画調整担当課長、鈴木図書館分館担当課長、田島生涯学習政策課課長補佐、高木学習支援課主査、村石図書館課主査、川久保生涯学習政策課主任、堀江生涯学習政策課主任、香月生涯学習政策課主任
欠席者氏名	阿部 寧子、野口 武悟
議題	(1) 報告事項① 令和3年度(2021年度)生涯学習関連事業評価について (2) 報告事項② 令和4年度イベント実施状況等について (3) 報告事項③ 第4次読書のまち八王子推進計画における事業の実施状況及び今後の実施予定について (4) 報告事項④ 八王子駅南口集いの拠点整備基本計画の進捗状況について (5) 報告事項⑤ 秋の図書館イベントの実施結果及び今後の開催予定について (6) その他
公開・非公開の別	「公開」
非公開理由	
傍聴人の数	「なし」
配付資料名	■報告資料① 令和3年度(2021年度)生涯学習関連事業評価について 報告資料② 令和4年度イベント実施状況等について 報告事項③ 第4次読書のまち八王子推進計画における事業の実施状況及び今後の実施予定について 報告事項④ 八王子駅南口集いの拠点整備基本計画の進捗状況について 報告事項⑤ 秋の図書館イベントの実施結果及び今後の開催予定について ■参考資料① 教育委員会定例会における関連事項について

会議の内容

(会長) それでは定刻でございますので、ただ今から令和4年度第3回生涯学習審議会を開催させていただきます。

新型コロナウイルスの感染拡大防止という観点から、対面とオンラインを併用したハイブリッド開催とさせていただきます。発言の際は挙手をしていただき、ご発言をいただくようお願いいたします。

初めに本日の出席者の確認でございます。本日会場に出席されている委員が7名、オンラインでご参加の方が6名、計13名のご参加ということで、本日の審議会は有効に成立することをご報告いたします。会議及び会議録の公開についてですが、八王子市付属機関及び懇談会等に関する指針に基づきまして、原則公開となりますので、本日の会議につきましても公開とさせていただきます。傍聴の方がいらっしゃいましたら、入室を許可しますが、本日はいらっしゃいません。

それでは、次第に従い、会議に入らせていただきます。

報告事項①「令和3年度(2021年度)生涯学習関連事業評価について」です。これにつきまして、事務局からご説明をお願いいたします。

(事務局) 前回までの会議及び会議後にいただいた委員の皆様からの意見を基に、生涯学習審議会評価案を作成し、会長および副会長に内容をご確認いただきました。八王子市生涯学習推進会議幹事会において、内容を確認後、令和3年度生涯学習関連事業評価として、10月19日(水)、第11回教育委員会定例会に報告しました。また、八王子市のホームページにも掲載準備中でございます。なお、今後は生涯学習振興を効果的に推進するために、生涯学習プラン掲載事業以外のすべての生涯学習関連事業についても、実績調査をする予定です。

(会長) ご報告をいただきましたが、お手元の資料を確認しながら、ご意見ご質問がございましたら、挙手をお願いいたします。特に、「生涯学習審議会評価」欄が我々の意見として公になりますので、ご確認をお願いいたします。

(生涯学習政策課長) この関連事業評価の結果につきましては、教育委員会定例会でもご報告をさせていただきます。過去にこちらの生涯学習審議会に在籍もされていた委員から、「こういった政策に関しては、横串を刺して市長部局、教育委員会といった部分は関係なく、連携してほしい」というご意見がありました。教育長からは、本市の生涯学習の取組等を通じて、今後の課題となっているような部活動の地域移行等についても、地域の力を活かした形で進めてほしいといったコメントがありました。

また、先程、事務局から報告がありましたが、現在生涯学習関連事業およそ約130の事業をプラン掲載事業として評価の対象にしておりますが、今回、評価とは少し別の観点から、生涯学習の全事業について、全所管に全事業調

査、悉皆調査をお願いしようと思っています。

八王子市のどの所管が何をしているか、全体を「見える化」し、当課が取りまとめて保管しておくものではなくて、全職員が見られるオープンなデータにすることによって、A所管の事業とB所管の事業が繋がり、市民の活動量がより上がるようなものにしたい。例えば、ボランティア養成講座を受けた人を、それに関連する他所管のボランティア活動等に接続できるような、そういった取組をするために、しっかり調査を実施して、全庁的に情報を共有して参りたいと考えております。

(会長) ありがとうございます。それぞれの施策ごとの生涯学習事業関連評価となりますが、それをご覧いただきまして、皆様からご意見をいただきます。

(委員) 膨大な事業をまとめていただきまして、作業が大変であったと思います。本当にありがとうございました。過去に在籍した委員の方がおっしゃるように横串を刺すということは、とても大事なことで、今おっしゃったように、他の部署のものもトータルで見えていくことが大事ですので、そちらもまた、期待して待っていたと思います。

それから、生涯学習政策課の中でも、これだけまとめて、方針も出すことは、中々できるようで、できないことをやっていたらと思っています。また、次期の教育振興基本計画についても出ていますが、その中でも社会教育の重要性を、地域との連携等、すごく言われています。そのため、どのように繋がるかを私自身も見ていきたいなと思っています。引き続きよろしく願いいたします。

(生涯学習政策課長) ただいま、ご評価いただいた好事例の一つとして、福祉部の高齢者いきいき課では、東京都の外郭団体との研究事業で、認知症予防のための絵本の読み聞かせ講座という事業を行っています。こちらは、半年ぐらいかけて、いろいろな読み聞かせの技法を学んだものはいいいものの、卒業した後の活動機会がなかったという課題がありました。

これについて、開催会場を中央図書館に変更することによって、その半年間の取組について図書館の方も見ており、そして図書館にはたくさんの読書関係の団体等に、すでにネットワークができていますので、そうした中で図書館のサポートを受けて、卒業後に読み聞かせボランティアが発足し、南大沢保健福祉センターで子どものために読み聞かせをするという活動に繋がりました。福祉部と教育委員会の横断的な取組について、一つ例を挙げましたが、こういったものが他でも発生するように、情報の見える化を進めていきたいと考えております。

(会長) 教育委員会と市長部局の横断的な取組について、大変重要だろうと

思います。今話しあったようなことを、さらに進めていっていただくためにも、垣根をなくすということは一番大きなポイントになるような気がいたします。是非、乗り越えて、素晴らしい事業をされますよう、よろしくお願いいたします。

(委員) 市長部局と教育委員会もさることながら、教育委員会の方でも、図書館部門がこの中に入っているということはとてもいい傾向だと思えます。そのため、こういった部局の垣根を越えて、いろいろな審議会同士が繋がり、情報を提供しあうことも必要と思えます。

それともう一つ、先程のこれらの事業以外の調査で、検証するという話がありましたが、一つだけ確認しておきたいのは、昨年ぐらいから、全部の事業ではなく、サンプル調査になりましたよね。この100程度の事業の抽出の仕方についてお聞きしたいです。以前より評価対象事業が少なくなったので、サンプリングの仕方について、どのような形でこの事業に絞られているのか、それをお聞かせいただければありがたいなと思えました。

(生涯学習政策課長) 今お尋ねいただいた件につきましては、現在の生涯学習プランに掲載されている事業を、代表的な事業として抽出しております。ただ、このプランができたのは、令和2年ですので、実際の策定作業は令和元年に行っています。その意味で、例えば、コロナ禍を通じて、ICTを活用した事業、あるいは、ただICTを使うだけではなくて、学び方を変えれば、DXにも通じるような事業が出てきているという現実には、少しサンプル抽出が追いついていないというところは、認めざるを得ません。そのため、評価対象として抽出する事業の適正性については、今後の課題となっております。以上です。

(会長) ありがとうございます。オンラインでご参加の方がご意見ご質問はございますか。よろしいですか。それでは先に進めさせていただきます。報告事項②「令和4年度イベント実施状況等について」です。これにつきまして、事務局からご説明をお願いいたします。

(学習支援課長) 令和4年度イベント実施状況等につきまして、学習支援課よりご説明させていただきます。

配布資料に基づきまして説明させていただきます。

令和4年度イベント実施状況等についてですが、コロナウイルスの影響に伴いまして、ここ数年中止、またはオンラインとなっていたイベントにつきまして、3年ぶりに開催できるものが増えてまいりました。

そこで、今回、そのいくつか実施したものについて、状況をご説明させていただきます。

(1)「第11回子ども将棋大会」でございます。開催日時は令和4年8月19

日（金）、会場は生涯学習センタークリエイトホールです。
子ども将棋大会については、先程申しましたとおり、コロナ禍によって2年間開催することができず、今回3年ぶりの開催で、第11回目を迎えることになりました。今回は参加者を制限し、例年よりも少ない人数で開催しましたが、久しぶりの開催ということもあり、熱気を帯びた大会となりました。参加者につきましては、79名となっております。内容につきましては、市長の開催挨拶から始まりまして、今年6月に1,500勝を達成した羽生九段からのビデオメッセージをいただきました。羽生九段からは、将棋大会に毎回欠かさずビデオメッセージをいただいております。予選対局および決勝トーナメントが開催され、熱気を帯びた戦いが繰り広げられ、多くの保護者の観戦のもとに、大会が進められました。また、惜しくも敗れてしまったり、勝ち進んで次の対戦を待っている子どもたちへ、プロ棋士による指導対局というものが展示室で行われまして、こちらも大変な賑わいでした。私も初めて見ましたが、プロ棋士の方が、子どもたち4・5人を一度に相手にして、将棋を指すというものでございまして、大変賑わってございました。最後は、教育長に閉会の挨拶で締めをいただきまして、また桜井九段を始め、ご協力いただいたプロ棋士からそれぞれコメントをいただきまして、表彰式・写真撮影をして終わりました。

（2）「第18回生涯学習フェスティバル」でございます。こちらの開催は、令和4年10月22日（土）、会場は生涯学習センタークリエイトホールでございます。

このフェスティバルにつきましても会場での開催は3年ぶりとなりました。過去の多い時には、5千人以上の来場者がありましたので、今回の参加者の数字だけを見ると、少し寂しい感じもしますが、一方で、ホールや会場におきましては、久しぶりの開催で日頃の生涯学習の成果が披露することができたということで、喜びの声をいただきました。また、来場者も様々なプログラムを体験できたと思いますので、生涯学習の振興と発展に寄与できたと考えております。なお、本年度は、ステージ発表が10団体、展示団体は14団体です。その他、事前に映像を送っていただいた団体の方の映像をYoutubeで配信を行っております。今回参加者は1,475名でございました。

（3）「Fika キャラバン家庭教育支援講座」でございます。全ての教育の出発点と言われる家庭教育支援でございますが、家庭においては、保護者がお子様に生活習慣や基本的倫理観、社会的マナー等を身につけさせる他、保護者に対して支援することで、家庭における教育力の向上を目指すというものでございます。実績につきましては、今年度、現時点で9回実施、135名の参加となっております。なお、昨年度については、6回で合計152名参加ということで、現在すでに昨年度よりも多い回数を行っており、今後も、今年度複数回の開催を予定しています。また、今後につきましては、小学生の保護者向けだけでなく、例えば幼稚園の方を対象にしたFikaキャラバン等も検討しております。

(4)「家庭教育講座・青少年講座について」でございます。子どもの頃から生涯にわたる学びを見据え、様々な自然体験や社会体験等の体験活動をして、他者との関わりや社会との関係について、視野を広げることを目指すというものでございます。今年度現時点の実績につきましては、それぞれあわせて 34 回 324 名の参加者となっております。家庭教育講座の内容については、親子で一緒に作業することができる、例えばそば打ち体験だとか、立体模型を一緒に作る、そういったものでございます。青少年講座につきましては、音楽や音楽関係、工芸関係、プログラミング等がございます。令和4年度実施状況については、以上となります。

続きまして、参考に今後のイベント開催についてご案内させていただきます。

一つ目は、「クリエイティブステージ 2022」でございます。こちらは、令和4年11月13日(日)に生涯学習センタークリエイティブホールにおいて開催予定でございます。若者世代の40歳以下の個人またはグループの方向けに、日ごろの活動成果を発表する場を提供し、若者世代の生涯学習の推進を図ろうというものでございます。今年度は、ダンスやバレエ、ピアノ等という団体がステージ発表をしていただく予定となっております。

続きまして、二つ目が市内高校吹奏楽フェスティバルでございます。こちらは、令和4年12月18日(日)八王子駅南口J:COMホール八王子での開催を予定しております。八王子市教育委員会、八王子市高等学校吹奏楽連絡協議会及びJ:COM東京様との共催で、八王子市市内高等学校吹奏楽13校が一堂に会し、演奏会を行うことにより、青少年の音楽活動成果の発表に場として、市民文化の向上を図るものでございます。

参考として、子ども将棋大会の開催の様子、それから第18回生涯学習フェスティバル写真を参考に掲載しております。私からの説明は以上でございます。

(会長)ありがとうございます。ただいま事務局から、詳細の説明をしていただきました。ご意見ご質問がございましたら、是非お願いいたします。

(委員)Fikaキャラバンのところですね。今後は幼稚園対象もということで、これは非常に良い取組だと思うので、是非実現していただければと思います。先程報告を見まして、参加する方が増えているという報告が資料の方にありまして、その内容としてはやはり交流を求めるところが一番よかったのかなと思います。小学校に入る前の段階の幼稚園で、それぞれの親子間、あるいは家庭間での交流がしっかりできていると、小学校に入ったときもスムーズに行きやすいかなと思うので、その幼稚園の対象というのを是非お願いしたいです。もう一つは、生涯学習フェスティバルについてです。生涯学習コーディネーター会の役員として参加させていただきましたが、たしかに晴れていたにもかかわらず、参加者が若干少ないように感じました。ステ

ージ発表が今回 10 団体ということですが、いつもは 20 団体ほどあったと思います。密にならないようということを懸念されて、団体数を減らしたのだと思うのですが、何とか団体数を増やせればよかったのではないかと思います。また、市民講座を目玉として毎年実施していたのですが、コーディネーター会の方のマンパワー不足ということもあり、今回実施しなかったのも、それも影響しているのではと思います。コンテンツに関して、もう少し集客力のある形で何とかできたらというのを課題として思いました。

(会長) ありがとうございます。他にご意見ご質問はございますか。

(生涯学習政策課長) 実は Fika キャラバンにつきましては、生涯学習審議会委員の方が中核をなしていらっしゃるんですけど、この文字情報だけでは掴みきれない現場の手応えやニュアンス等について、皆様に情報を共有していただきたいなと思います。

(委員) ありがとうございます。その前に生涯学習フェスティバルは、人数が少なかったですが、開催できてとても良かったなと思っていて、今年はやることに一番意義があったのかなと思いました。また来年、元通りになるといいなと思いつつ、お聞きしておりました。

Fika キャラバンですが、今年はあと 2 校開催予定で、人数的にはもう少し増えると思います。学校に行きますと、保護者の方が立ち話をすることがありますが、実際こういうことで悩んでいる等の話は中々できない状況になりましたので、そういう意味でここへ来て良かったと思います。そこで、先輩保護者がいらっしやったり、各 PTA や学校運営協議会にご協力いただきましたので、先輩保護者に話を聞いて安心感に繋がっているのかなと思っています。今後は、幼稚園の方にも対象を広げたいと思っていますが、私たちのマンパワーの問題もありまして、来年お試しでできればいいなと。それから、学習支援課長に申し上げたいのですが、以前は市役所の職員の方を対象に年に 1 度実施していました。その時も職場の中で仕事の話をして、自分の子育ての話の中々できないのすごくよかった、とおっしゃっていたので、是非 Fika というもののご理解を深めるためにも、一度市役所 Fika を実施させていただくと嬉しいかなと思っています。事業の実施にあたり、理解している方がたくさん増えると、やりやすいということもありますので、よろしくお願ひしたいなと思います。

(委員) Fika キャラバンについて、とても良い取組で、私は幼稚園で園長をやっておりますので、是非幼稚園を使っただけならいいなと思いました。別件ですが、第 4 回と第 9 回の生涯学習センターのところが、参加者が少ないと思いました。2・3 名ということですね。学校はおそらく保護者同士が声を掛け合って集まっていると思いますが、生涯学習センターは、誰

にも誘われずに一人で来られる形になるので、この数になるのかなという気がします。2名の参加者で、Fikaキャラバンは一体どうやったのだろうかというのが、純粹に疑問を感じました。そのため、開催場所として学校をたくさん使っていくのがいいのではないかと思ったのが感想でございます。

(学習支援課長) ご指摘のありましたとおり、学校以外の会場というところでの開催で中々参加者が集りづらいと感じています。学校では、保護者同士が誘い合ったり、もしくは保護者会から引き続いての開催等もあり、比較的たくさんの方にご参加いただけるのかなと思っております。ただ一方で、やはり学校以外の開催という部分につきましても、今後、多く参加していただきたいと思っていますので、Fikaキャラバンの皆様を始めとして、いろいろご意見をいただきながら、どうやって人を集めることができるか、工夫しながら今後もやっていきたいと考えております。

(委員) 少ないのはもちろん、費用対効果でどうかっていうことはもちろんあると思うのですが、来られる方は学校で Fika を体験したので、もう一回是非話をしたいと言っておられる方もいたり、どうしても話したい方が来られるのですね。できれば人数が少なくても、2回は多くても1回でも続けていきたいと、担当内では話しているところです。ただ、その人数が少ないからできないというのではなく、少ないと逆に対面の深い話ができますので、時間的に余裕もありますし、意味はあるのかなと思っております。

(委員) 生涯学習センターの件はわかりました。いろいろな関わり方があるのだなと思います。

別件ですが、家庭教育講座の中の生涯の学びを見据えて、様々な自然体験や社会体験、という体験活動ありますよね。これはとても良いことだと思うのですが、実際に子どもたちが自然体験をするのに、例えばプレーパークが話題になっていて、八王子は少ないのですが、港区や世田谷区、川崎市に大きなプレーパークがあります。その様に子どもたちが自然体験をできるものが八王子の中にも少しはあるので、そういうところでの活動を計画するような予定はありますか。

(学習支援課長) 今のところ具体的な計画はありません。現在は、自然といいますと、例えば多摩動物園の動物の役割を知ってみようですか、身近な植物で草木染めをしてみようとか、そのような講座は実施しておりますが、今後違った展開も可能かどうか検討して参りたいと考えています。

(委員) そうですね。子どもと家族だけだと、小さな体験しかできないので、協力して大勢の子どもを集めて、大きな自然体験ができると効果的かなと思いました。

(会長) プレーパークは今後、八王子市内でどうやって作るかというのは一つ大きな課題ですね。是非、教育長あるいは教育委員会の方にそういったものを作る、今後の道をご発言いただくようお願いいたします。

(委員) 今の話に付け加えさせていただくと、学校と家庭、そこはとても重要な子どもたちの居場所になるのですが、その第三の居場所である地域の居場所づくりが必要だろうと思います。そういったものを支援していく意味で、公園等を活用し、学園都市の大学生や地域の方がプレーリーダーに入ってきていただくとか、そのような形で子どもたちを見守るアプローチもできます。第三の居場所としてのプレーパークですね。積極的に進めていただきたいなと思います。

(委員) プレーパークは場所も必要ですが、プレーリーダーも必要です。大学の多い地域でもありますし、プレーリーダーの養成も視野に入れて、お願いできればなと思います。

(会長) ありがとうございます。今後のひとつの方向性の姿だと思いますので、是非ご検討をお願いしたいと思います。他に何かご意見ご質問はございますか。この件に関しまして、よろしいですか。それでは先に進めさせていただきます

続きまして、報告事項③「第4次読書のまち八王子推進計画における事業の実施状況及び今後の実施予定について」ですが、事務局よりご説明をお願いいたします。

(事務局) それでは、「第4次読書のまち八王子推進計画における事業の実施状況及び今後の実施予定について」ですが、資料に沿ってご説明いたします。まず、A4版の資料③-1をご覧ください。

「1.趣旨」ですが、第4次読書のまち八王子推進計画に基づく、事業の実施状況や今後の予定をご報告し、委員の皆様からご意見等を伺いたいと考えております。

事業の実施状況については、主に令和3年度の実施状況と、令和4年度の実施状況・予定についてご報告いたします。また今年度、第4次読書のまち八王子推進計画に基づく事業実施計画の令和5年度～6年度版を策定するため、報告内容に限らず、忌憚のないご意見をいただければと思います。

続いて、「2.内容」に参ります。

(1) 事業実施状況の概要ですが、簡単な表にまとめてございます。総事業数が46事業、延べ実施・連携所管数は59所管にのぼります。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、約3割の事業が縮小、あるいは中止する形となりました。子どもや高齢者に対して、室内で読み聞

かせ等を行う事業については、令和4年度においても慎重な姿勢が続いております。一方で、予定通り実施した事業は7割を超え、感染対策を講じながら、「新しい生活様式」における市民の生活や読書環境の変化を捉えた事業実施を進めているところです。

次に、(2) 事業ごとの実施状況でございます。A3 版の資料③-2をご覧ください。

図書館では、コロナ後の「新しい生活様式」を見据え、既存の「来館型サービスの質的向上」と「非来館型・出張型サービスの充実」の2つを新たな課題として追加し、既存の施策とあわせて重点施策を整理いたしました。ここでは、特に新しい取組を中心に説明してまいります。

まず、コロナ後の「新しい生活様式」を見据えた出張型の読書活動支援として、1頁一番下になりますが、公園等と連携して図書館外でおはなし会を行う「出張型おはなし会」を実施しました。今年度は引き続き、南大沢中郷公園や小山内裏公園で定期的開催し、従来の図書館利用者だけでなく、これまで図書館を利用したことがない層に向けても、親子で読書を楽しむ場を提供していこうと考えております。

また、3頁上から4つ目になりますが、図書館周辺の公園を活用し、読書関連のイベントや出張型おはなし会を行う「パークライブラリー」を実施しました。参加された方からもご好評をいただいておりますので、今年度は春と秋に南大沢図書館と川口図書館で開催を予定しています。また、中央図書館でも陵南公園にてこの秋開催予定でしたが、残念ながら雨天中止となりましたので、引き続き来年度以降の開催を目指してまいります。

続いて、非来館型サービスの充実として、3頁下から3つ目になりますが、「電子書籍・web サービスの拡充」を行いました。昨年4月にはインターネット音楽配信サービス「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」を導入した他、今年4月からは電子雑誌読み放題サービスを開始しております。「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」について、令和3年度は月平均1,000件程度のアクセスがありました。今後も市民に対して事業 PR を行いつつ、各サービスの充実を図ってまいります。

また、3頁下から2つ目になりますが、図書館利用者の利便性の向上に向け、「オンラインリクエストサービス」を今年9月から実施しています。これは、市内図書館で所蔵していない、発売済の図書のリクエストについて、従来の来館・電話での受付に加え、電子申請でも受付をするものがございます。

さらに、1頁上から3つ目になりますが、乳児健診やおはなし会等のイベントを活用し、「出張型利用者登録」を実施しました。昨年度は1,280名の登録があり、八王子市の乳幼児の43%が利用登録をしているという状況になりました。この結果を受けまして、今年度はイベント等での出張型利用者登録の機会をさらに増やしていこうと考えております。

また、子ども読書活動の推進として、昨年度は2頁上から6つ目にあります「本のPOPコンテスト」を初めて開催いたしました。小学生から大学生を対

象に実施したもので、昨年度は 4,000 作品以上の応募があり、入賞作品は市内図書館だけでなく、書店でも展示を行いました。今年度はさらに地域イベントでも入賞作品の展示を行う等、外部団体や学校と連携しながら事業を進めてまいります。

この他、若年層に向けた新たな取組として、2 頁下から 4 つ目になりますが、20 歳の市民を対象にした「20 歳を祝う会」で来年 1 月に配布するブックリスト「八王子の八冊」の作成に向けて、関係所管と調整しながら準備を進めております。

さらに、市民の皆様が安心・安全に図書館を利用できるよう、3 頁下から 5 つ目になりますが、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、昨年度は新たに市民センター図書館 5 館に図書除菌機を設置いたしました。これにより、市内図書館全てに設置が完了いたしました。

これらを踏まえまして、(3) 指標の推移でございます。本計画では、八王子が読書のまちとして推進されていることの指標となる「図書館の実利用者率」と「市民一人あたりの貸出数」の 2 点を高めていくことを目標としております。新型コロナウイルス感染症の拡大により、この数年は数値が落ち込んでおりましたが、令和 3 年度では回復方向にあり、利用者の方々がまた図書館に戻り始めたことがわかります。ただし、「市民一人あたりの貸出数」の戻り方に比べて、「図書館の実利用者率」の戻り方が鈍いことから、普段から図書館を利用されている方がより多く借りるようになっている、との傾向が読み取れます。

新しい生活様式を踏まえた、図書館利用を推進する中で、パークライブラリーや出張おはなし会等、図書館という場所を離れ、気軽に本や読書に親しめる事業を展開してきたところですが、更にもう一步、図書館の資料を利用した深みのある生涯学習にまで繋げられるよう、引き続き本計画を進行してまいります。

(会長) ありがとうございます。何か皆様からご意見ご質問はございますか。

(委員) この計画 5 年間の計画で、令和 4 年度が 3 年目ということで、ちょうど中間地点にあたと理解しております。その上でお尋ねしたいのは、この令和 4 年度のコロナ禍の影響をきちんと把握されて、その上で実施予定を組まれるのは、非常に有効な方法だと思っているのですが、一方で、この令和 4 年度に縮小した事業の、令和 5 年度以降の対応というのも大変気になるところではあります。そこでご質問したいのが、今回縮小を予定した事業についても、令和 5 年度以降拡大という可能性も充分残されているのかどうかということが一つ、それからここでいう予算の縮小ということも含まれているのかどうか、ということがもう一つです。よろしくお願いいたします

(事務局) 事業の縮小をされているものに関しては、市民・利用者の安全性を確保しているという部分もございますので、関連所管のあるものについて

は、対応を協議し、やり方を変えながら、続けていけるようにとは考えております。二つ目の質問をもう一度よろしいですか。

(委員) 二つ目の質問は、令和4年度でいう事業の縮小というのは、予算の縮小ということも含まれているのかどうかということをお尋ねしたい。

(会長) あわせて予算も縮小されてしまったのですか、ということですね。

(事務局) 予算の縮小までは、今のところはされていません。

(会長) 予算の縮小には及んでいないということですので、事業としては、今後の状況によって復活していくということは充分考えられる、という理解でよろしいですか。

(事務局) はい。お子様や高齢者等を対象にした事業も多いため、高齢者施設ですと、慎重に安全が十分確保されてからというところがまだございます。こちらとしてもやり方を考えながら、進めていかなければいけないと思っております。よろしく願いいたします。

(委員) 今の件で細かい点で恐縮ですが、単年度で見ると「事業の縮小予定」とだけ見ると、縮小しているように見えますが、例えば、令和3年度にコロナウイルスの影響で中止せざるを得なかった事業について、令和4年度に規模は縮小していますが、実施できたというような見方、回復や再開できている、というようにも見えます。そのため、「規模を縮小して実施予定」というような形で表現していただくと、単に縮小ということだけでなく、むしろ中止していた時から徐々に探りながら見ていって、今後全面再開を目指すというような、この5カ年の流れが見えてきていいかなと思いました。

(会長) ご意見として承ります。

(委員) 図書館離れというか、最近は皆様、自分の手元のスマホでいろいろなものを読まれますが、図書館が電子図書を出したのは、とてもいいと私は思っています。ただ、年齢が高い人が増えてくると、今度は音で聴く方の図書で、話を音で聞けるようなものが、だんだん必要になるのではないかと思うのですが、そういうものの貸出は、行われていますか。音楽ではなくて、読み聞かせのようなもので。

(事務局) 様々な形がありまして、朗読を録音したCDの貸出をする他、電子書籍の機能の一部として、読上げ機能がついているものがございます。そういったものを楽しんでいただけるかと思えます。

(委員) だんだん足元が悪くなって年齢が高くなると図書館に行くのも大変になって、文字を読むのも大変な方は、結構私の周りにたくさんいるので、読上げ機能等、さらに宣伝していかれるとよろしいかと思います。

(図書館課長) オーディオブックというものもホームページ上にあげておりました、プロの声優さんやナレーターさんが朗読するものを音声で楽しめるもので、そういったことの周知も図っていきたいと思います。

(会長) 問題は、そのような機能やサービスの PR を市民にどういう形でやっていくかですね。裾野を広げる意味で是非ご検討いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

(委員) 先程お話がありました、コロナ禍により中止や、縮小した事業のうち、3歳児検診のおはなし会がとても残念だと思います。3歳児検診は来られる方が多いです、これからワクチンもついてきますし、その場で虐待がわかることもあります。そのため、是非元の形に近いような、そして、3歳児検診に行くモチベーションになるような、楽しいおはなし会を企画していただけるとありがたいなと思っていました。

(会長) コロナ禍になる前は、市民の反響も大きく、参加者も多かった事業ですので、是非時期を見て復活していただければ大変ありがたいと思います。よろしくお願いいたします。

(委員) 2点あります。1点目が、指標の推移で貸出数というのは電子書籍も含まれていますか。

(事務局) こちらは申し訳ありません、まだ含めていません。

(委員) 電子書籍に力を入れられているので、入っていないのがもったいないなという感じがします。是非入れていただくといいと思います。2点目は、除菌機の設置について書かれているところがありますが、これはまだ全館には設置されていないのですか。

(事務局) 今年の3月末に市民センター5館に設置しまして、これで9館すべてに設置が済みました。

(委員) 図書館の自由記述のアンケートを見させていただいた時に、結構除菌を気にされている方のご意見がありましたので、設置されたということを利用していただくことで少し安心感があって、利用に繋がるのではないかと感じました。

(会長) 承りました。是非ご検討をお願いいたします。

(委員) 書籍について、例えば子ども用の紙芝居はこの中に入っていますか。同じ物語を届けるっていう意味で、本だけではなくて、紙芝居もひとつ役割果たしていると思うのですが、このあたり入っているのかなと思いました。

(事務局) 貸出数の中に含まれています。

(委員) そうですね。それから、今、コロナ禍ということで、いろいろ事業が止まっているところではあります。私も紙芝居のサークルに入っていて、公立の保育園等に行っていたのですが、ここ3年間止まったままです。実施していいよ、というのは市からは言えないかと思いますが、学校とか保育園等で読み聞かせや紙芝居を実施することは、各学校等の判断に任せていらっしゃるということでしょうか。

(図書館企画調整担当課長) 元々この実施計画を立てたときに、できればこちらの方から、保育園や幼稚園に出向いて、こういう読み聞かせをやりたいというところでした。しかし、コロナ禍において室内でやるということもあり、実施することが難しい状況でありましたので、それに代わるということで、今回説明させていただきました。公園等を利用して実施する等、形を変えてやっているところですが、今後も是非、状況に応じてやっていきたいなと考えております。

(委員) 利用者の推移の話がありましたが、あくまで本を借りた人、つまり本が一冊出たかどうかで、利用者というふうに判断しているということですか。

(事務局) はい。貸出の履歴をもって「利用」というふうに、ここでは判断しています。

(委員) そうですね。図書館はもちろん本を貸し出したり、借りたりするということが大事な場所ですが、そこから飛び出していこうっていうような発想もこの中に多く出ています。そのため、今後は「利用者」の中に、例えば読み聞かせに来たような子どもたち、その他に勉強している学生たちや、中央図書館であれば地下の展示室で絵画展や写真展に来ている人たちも、利用者といえは利用者ではないかと思えます。カウントするのは難しいかもしれませんが、利用者として入れられるような方法が取れたらよいのではないかと思います。

(会長) ありがとうございます。今後の検討事項と検討課題ということですね。承りましたので事務局にお預けしたいと思えます。それでは、先に進めさせていただきます。

続きまして報告事項④「八王子駅南口集いの拠点整備基本計画の進捗状況について」ですが、事務局でお願いいたします。

(図書館企画調整担当課長) 最初に「1. 報告の趣旨」でございますが、八王子医療刑務所移転後の整備につきましては、平成 31 年 3 月に策定いたしました「八王子駅南口集いの拠点整備基本計画」におきまして、政府の基本的な考え方により、公園・ミュージアム・ライブラリを整備する方向性を示しました。

その後、整備する事業の具体的な方針を示す、実施方針等を公表する際に、令和 3 年 6 月 7 日に書面開催をいたしました本審議会に、別紙 1 の報告書と別紙 2 の憩いライブラリ管理運営方針の案の事業報告をさせていただきました。今回はその後の事業の進捗状況につきまして、ご報告をさせていただくものでございます。

次に「2. 報告内容」でございますが、前回の報告以降からこれまでの経緯につきましてご説明させていただきます。令和 3 年 10 月に学識経験者及び市の職員より構成されます、八王子駅南口集いの拠点整備・運営事業評価会議を開催し、ご意見を伺って修正をしました。

その後、同年 12 月に実施方針等を公表いたしまして、あわせて事業者への説明会と現地見学会を開催いたしました。

そして翌年、令和 4 年 2 月に実施方針について事業者から寄せられた質問につきまして、回答を公表後、第 2 回評価会議で公表内容の報告等をさせていただきました。

同年 4 月には募集要項の公表にあたりまして、第 3 回評価会議でご意見を伺い、修正した後に、募集要項等を公表いたしました。こちらも実施方針等を公表し、同様に事業者向けの説明会を開催いたしまして、事業者から寄せられた質問の概要を公表いたしました。

そして同年 8 月に事業者から提案を受けるにあたりまして、市の考えと事業者の認識にズレがないかを確認いたします、第 1 回競争的対話を実施いたしまして、第 4 回評価会議でご報告をさせていただきました。

同年 9 月に競争的対話の質問・回答を公表後、第 1 回競争的対話からさらに事業者の提案の内容や建設イメージに近づきました、第 2 回競争的対話を実施いたしました。この対話におきましては、市側からの質問、評価会議委員の皆様からいただいた質問、事業者からの質問に対してそれぞれ確認・回答いたしまして、同年 10 月に質問・回答を公表したところでございます。ここまでは前回の審議会から現在に至るまででございます。

続きまして「3. 今後のスケジュール」につきまして、ご説明をさせていただきます。現時点におきまして、事業者からの提案をまさに今受け付けてい

る状態でございます。これが11月4日（金）に締め切れ、後日に開催されます第5回評価会議におきまして、第2回の競争的対話の内容報告と、今回の応募に関する報告等を行います。11月下旬開催予定しております、第6回評価会議で提案についての採点が行われる予定であります。

そして同年12月の市の政策会議を経て、優先交渉権者、要は契約予定者を決定して公表いたします。

そして令和5年1月に仮契約を結び、その後に審議会の議決を経て、同年3月に本契約の締結を予定しております。

契約締結以降につきましては、同年4月から解体工事・設計建築と進みまして、令和8年に供用の開始を想定しております。

なお、事業者に関する情報や、競争的対話の内容、契約等に係る事項につきましては、残念ながら現段階においては非公開ですので、ご了承ください。また今後の進捗状況におきましては本契約締結後、審議会にご報告をさせていただきたいと考えております。八王子駅南口集いの拠点整備計画の進捗状況につきましては以上でございます。ありがとうございます。

（会長）大分先のことになりますが、大きなスペースを有効に使おうということでございますので、この件について何かご意見ご質問はございますか。

（委員）最初に私も令和3年6月にお聞きして、とても素晴らしいものである、大いに期待しているところです。まさに「21世紀の図書館はこういうものである」というような広く展示できる図書館にさせていただくという意味では、現状の市内にある図書館と比べても新しい試みを盛り込んでいただきたい、という期待をしています。特に子どもや八王子の未来というのが一つのテーマでもあるので、子どもを中心にしながら親を含めたものになると思うのですが、先程の話からすると、パークライブラリーの常設館みたいなイベントをしていただいていますので、それが常態化している図書館を期待しています。多摩市は来年7月、多摩センター駅前の一角に、新しく中央図書館ができるとのことで、いろいろな意味での比較をされると思っておりますが、是非八王子の素晴らしい図書館を作っていただければと思います。

（会長）他にご意見ご質問はございますか。

（委員）今年度からの新しい委員ですのでわからないこともありますが、こういう計画があることを全く知りませんでした。すごく素晴らしいことだと思いますが、この集いの拠点を発想する上で参考・見学されたところがありますか。

（図書館企画調整担当課長）かなり遡ると私も関わっていないのですが、大

和市のシリウスですとか、武蔵野市のプレイスであるとか、いろいろなところを見させていただいておりました、良いところや実現可能なところを踏まえて、事業者へ八王子らしさを出してほしいというのをお願いしております。提案されている事業者からは現在の地形や高低差を利用して、八王子をイメージであるとか、これであれば許可できるかな、というような提案が出ています。

(会長) 高低差を上手に利用した、多摩美術大学の図書館はアンジュレーションを、そのまま床に活用して作られております。是非機会があれば見ていただければと思います。他にご意見ご質問はございますか。

(委員) 私もとても楽しみにしていますが、障害がある方の対応がユニバーサルデザインのところしか出ていません。施設的には障害のある方への対応にはなると思いますが、障害と言っても精神面・言語面だとか、いろいろな障害がありますが、心理的な垣根がない形でお願いしたいです。心理的負担が少しでも感じると使っていただけないので。もう一つ気になるのは、少し遠い場所にあるのですが、障害のある方や、お金がない子どもの移動手段はどう考えていますか。

(図書館企画調整担当課長) どのような形でアクセスするのかというところですが、かなり広くて大きい規格で駐車場を取っているところで、事業者の中にはシャトルバス等も視野に入れているところもありますので、そういった全体を含めて一番良い提案を受けていく形になると思います。あと、バリアフリーユニバーサルデザインに関しましても、要求水準の中でかなり高く求めています。

(会長) 具体的にユニバーサルデザイン関係のことが出てきましたら、こちらに紹介して見せていただければ、ということでもよろしく願いいたします。他にご意見ご質問はございますか。よろしいですか。それでは先に進めさせていただきます。報告事項⑤の「秋の図書館イベントの実施結果及び今後の開催予定」についてご説明をよろしく願いいたします。

(図書館分館担当課長) お手元に配布しております資料でご説明させていただきます。

まず報告の趣旨でございますが、秋の読書週間(令和4年10月27日(日)から11月9日(水))と「はちおうじ読書の日(同10月27日(木))にあわせたイベントについて、実施結果及び今後の予定をご報告いたします。実施結果の概要ですが、①10月22日(土)図書館映画まつりは、作品「マンマ・ミーア」を生涯学習センター図書館10階第二学習室で放映しました。来館者は37名で、14時から16時の間でDVDでの上映と、関連本を展示させ

ていただきました。

②10月10日(月) ハロウィンおはなし会、こちら祝日だったのですが、魔女やお化けのハロウィンの話を午前午後1回ずつで、計28名の方が参加されました。

③10月15日(土) パークライブラリー、南大沢図書館が行ったものですが、今年で3回目になります。場所は長池公園で行っており、今回のコンセプトとしては、「絵本の世界へようこそ」という形で、高校生のキッチンカーと、公園側で手配していただいたキッチンカーを出店し、カレーライスを販売して完売しました。それと同時に保健福祉センターも一緒に健康作りという形で、健康相談を含めて実施したところです。来場者は420名でした。

④10月22・23日の図書・雑誌のリサイクル、こちら中央図書館の方で配布数7,563冊、来訪者は391名にお越しいただきました。こちらは中央図書館の南側の所まで並んでいただいたので、整理券を渡して対応しました。

⑤10月2日(日) 南大沢図書館の図書・雑誌のリサイクル、配布数2,543冊、来訪者833名だったため、整理券を配布するようにしました。

⑥10月22日(土) 秋のおはなし会を中央図書館で行いましたが、来館者32名でしたが、おはなし会やパネルシアター、手あそびを加えて開催いたしました。

今後の主な開催イベントの予定ですが、①10月29日(土) 秋の小さな朗読会、こちら中央図書館で開催しまして、短編作品をボランティアの皆様方に朗読していただく予定となっております。

②11月5・6日に川口図書館が開催します、市民センター図書館とあわせた、あおぞらライブラリー。こちらは川口やまゆり館の中庭の方で、③図書・雑誌のリサイクルとあわせて行います。

④11月6日(日) にビブリオバトル。こちらはお勧めの本を発表して、観客の方が一番読みたくなった本を投票するイベントとなっております。テーマは「子どもの本」という形で、当日13:30から行います。以上です。

(会長) ありがとうございます。今ご報告をいただきました、秋の図書館の件ですが、何かご意見ご質問はございますか。

(委員) 少し気になるのは、日程の組み方が割と重なっていることが多いな、と。秋の読書週間ということで、期間限定の中で、しかも皆様に参加されやすいような土日ということになると、どうしても重なることが多くなると思うのですが、もう少し工夫できなかったのかな、と少し気になりました。

(図書館分館担当課長) 各所管でテーマ展示等を、それぞれ別の場所で行っています。それで皆様にお楽しみいただくという意味ではないのですが、毎週に別の場所で楽しむ場があるという形で調整の方をさせていただいています。

(会長) はい、ありがとうございます。八王子は面積が広いので、市民の皆様にお越しいただくのが成り立たない部分が多いようですね。たぶん、どうしても場所を散らさないといけないということもあると思いますので、上手く活用していただければと思います。他に何かご意見ご質問はございますか。

(委員) 図書館に関して、非常に充実した取り組みで素晴らしいと思うのですが、読書週間だから行われているのですか。それとも他の期間も、こういったことがかなり行われているのかどうかっていうことをお聞きしたいと思いました。

(図書館分館担当課長) 八王子市図書館報「らいぶらりい 151号」の特集にあわせて紹介させていただいたところですが、一年を通して季節にあわせて行事を行っておりまして、その一部を紹介させていただいているところです。

(委員) ありがとうございます、是非続けていただければと思います。

(会長) 当事者としてはこの時期だけではなく、トータルして進めていただいているところですが、今回ご紹介いただいたのが、この読書週間の種々のものとなりますので、よろしくお願いたします。他にご意見ご質問はございますか。よろしいですか。時間も経過しておりますので、本日予定しております案件は以上でございますが、他に何かございますか。

(生涯学習政策課長) もしよろしければ、生涯学習審議会委員の方が一昨日、放課後プラン運営委員会に出席されましたので、放課後対策につきまして、どのような意見が公開されたか等も共有できればと思います。よろしくお願いいたします。

(委員)

一昨日の放課後子ども総合プラン運営会議、それに審議会を代表して出席させていただきました。そこでは放課後子ども総合プランと、学童のものを一体的に進めていきたいと思いますということで、放課後の現状と、学童の実情をどうやったら一体的にできるのか、そしてただ話し合うだけじゃなく、八王子市の方でも一体的に進めているモデルとして、統合してできるような形で進められているということが報告されておりました。特に連携を進める委員を置いて、今後二つの施策を融合ないし連携をしていく、ということが話し合われました。非常に簡潔ですが、そのような話し合いがされたということです。以上です。

	<p>(会長) はい、ありがとうございます。ご報告は以上でよろしいですか。次回開催日程ですが、現状未定ですので、また改めてご報告をさせていただければと思います。よろしいですか。以上をもちまして、本日審議会を終了させていただきます。長時間でしたが、率直なご意見をいただきありがとうございました。</p>
--	--